

## LESSON NOTES

# Extra Fun #4 Her Doll

---

## CONTENTS

2	Kanji
8	Kana
14	English
20	Vocabulary
21	Sample Sentences

# 4

# KANJI

1. Mina-san, this story has 95 audio lines associated with it. Depending on your internet connection, it may take a long time for the page to completely load. Once the page is completely loaded, all the Line By Line Audio should play fine!
2. タケとサヤカは付き合い始めて、1ヶ月。だが、会社の間は二人が付き合っているのは知らなかった。
3. ある日、デートの帰り、
4. タケ: いやー、今日は飲んじゃったねー。
5. サヤカ: うん、そうねえ。ちょっと酔っ払っちゃった。ねえ、これから、うちに寄って行かない？
6. タケ: えっ、本当に？良いの？んじゃ、ちょっとだけ。
7. サヤカ: いまお茶入れるから待っててねー
8. タケ: おう、サンキュー！（今日はここに泊まることになりそうだなあ。）
9. サヤカ: あのね、この部屋に男の人が来るの、あなたが始めてよ。今まで誰も入れたこと無いの。
10. タケ: あ、そうなの？！（いやー、でもさっきから、なんかいやな感じがするんだよなー。誰かににらまれてるって言うか、ここにいちゃいけないような。。。)
11. うわっ!
12. ふとダンスの上を見ると、そこには着物を着た女の子の日本人形が置いてあった。

CONT'D OVER

13. タケ: (そうかー、こいつかぁ。この人形がさっきからずーっと俺のことにらんでたのかぁ。)
14. 日本人形はジューっと、タケのことをにらんでいた。
15. タケ: なぁ、この人形ってさ、目が動いたり、口が動いたりする人形？
16. サヤカ: そんなことできないわよ。普通の人形よ。
17. タケ: そうか？さっきから、すごい顔で俺のことにらんでるんだよ。
18. サヤカ: うそー、にらんでないわよ。
19. タケ: いや、本当なんだよ、歯をむいてこっちにらんでんだよ。
20. サヤカ: ほらー、この人形、歯なんてないから。
21. タケ: えー。。。あれ、変だなぁ。でも気味悪いなぁ。よくこんな人形と一緒に入れるなぁ。おれだったら、どっかに持って行って捨てちゃうよ。この人形さぁ、捨てた方が良いよ。
22. サヤカ: だめよ、お姉ちゃんからもらったんだから。
23. タケ: へえーお姉さんいるの？
24. サヤカ: うん。けれど、私が四年生のときに亡くなっちゃったんだけどね。六つ年上の高校一年生だったの。
25. 二人が話しをしていると、タケが帰れる時間ではなくなったので、サヤカの家泊まることになった。布団を敷き電気を消し、二人は横になった。
26. タケ: ううううっつ！！！！痛い痛い！！！！

27. サヤカ: どうしたの?!
28. タケがふとタンスの上を見ると、人形はタケをジーッと歯をむいてにらんでいた。
29. タケ: あの人形だよ、あの人形に腕をかまれた!!
30. サヤカ: えっ。。そんなことするはずないじゃん。
31. タケ: 本当なんだよ! あいつが噛んだんだよ! いてーっ
32. 確かに腕には小さな歯の跡のようなものが残っていた。そして、人形の口元には赤い血のような物がついていた。
33. タケ: うー、気味悪い。なあ、まずいよこの人形。やっぱ捨てた方が良いよ。。。
34. サヤカ: うーん。。。。
35. その夜、タケはなかなか寝れず朝を迎えた。
36. その後、タケはサヤカを避けるようになった。あの日本人形が怖いのと、その人形と暮らしているサヤカのことを気味悪くしてしまったのだ。
37. それから、2週間後くらいのことである。
38. ミキ: サヤカねえ、今悩んでんのよ。
39. タケ: ふーんどうして
40. ミキ: サヤカのところにさあ、古い日本人形があるの。この人形ってのがさ、サヤカが親しくなった男の子を連れてくると悪さをするんだって。それで、連れてきた男の子はみんな逃げちゃうんだって。

CONT'D OVER

41. タケ: あっ、そう、へえー（あれ、確か、俺しかサヤカの部屋に入っていないはずじゃなかったっけ？いい加減な女だなあー）
42. ミキ: でね、前の彼氏がね、人形に腕かまれて、人形捨てちゃえって言ってたんだけど、捨てられなかったんだって。でね、今度の彼氏を連れてきたいんだけど、人形が悪さしたらどうしようって、心配なんだって。
43. タケ: あ、そう、へえー（あれ、付き合い止めたなんていってないのに、俺はもう前の彼氏か？！まったく！！！）
- 44.
45. ミキ: いやね、お姉さんが亡くなる前にくれたらしいんだけどね。彼女からしてみれば、お姉さんの身代わりみたいなものなのよー。でね、顔がお姉さんに似ているんだってさ。
46. タケ: そうか。いやーでもそういうの持っていないほうが良いなあ、お寺か神社で始末した方が良いんじゃないか？
47. ミキ: じゃあ、ちょっと電話かけてみる。
48. サヤカ: あ、もしもし？みき？
49. ミキ: 人形のことなんだけど、やっぱり神社かお寺に持っていったほうが良いんじゃない？
50. サヤカ: そうよねえ、私もちょうどそう思ってたところ。仕事から帰ってくると、朝と違う位置に人形がおいてあったり、形が違ってたりするのよ。私がいないうちに、勝手に人形が歩き回ってるみたいなの。やっぱり、お寺か神社に持っていこうと思って。

CONT'D OVER

51. ミキ: そうね、その方が良いわよ。
52. サヤカ: うん。。。。やだあ、この子にらんでるっ！！
53. ミキ: もしもし、もしもし?!大丈夫?!
54. サヤカ: うん、大丈夫。。
55. ミキ: すぐにでもお寺か神社に行きましょう!
56. ミキ: ねえ、悪いんだけどさ、あの子、神社に人形を預けるって言うんだけど、手伝ってくれない?
57. タケ: ああ、、、んん、まあ良いよ。
58. その週末、タケ、サヤカ、ミキの三人はタケの車でお寺に行くことになった。ダンボールに人形を入れ、サヤカが抱きかかえるようにして持っていた。
59. タケ: んじゃ、出発しようか。
60. サヤカ: ねえ、、、ねえ、人形が外に出たがって暴れてるの!がたがた音がしてる。。
61. タケ: 違うよ!車運転してるからさ、それでゆれてるんだよ。
62. サヤカ: でも、出たがってる。。
63. サヤカ: ねえ、、、あのねえ、出して一出して一って声聞こえない?人形が言ってるんだけど。。
64. タケ: 言ってないよそんなこと!!

65. サヤカ: ほらあ、言ってる。。。出してー！。。。出してー！！！！。。。出してー！！！！！！。。。出してー！！！！！！！！
66. タケ: 待てよ、いま車止めるから。
67. サヤカ: 出してー！！！！出してー！！！！ねえ、ここから早く出してー！！！！出してー！！！！
68. サヤカはそう叫びながら、ダンボールの箱を開けようとした。
69. タケ: お前何やってるんだよ？！
70. タケはサヤカの手を押さえようとする、サヤカはタケの腕に噛み付こうとした。
71. タケ: うわっ！！
72. ダンボールには小さな穴が開いていた、すると穴の中から。。。。
73. 人形（サヤカ）: 早く出してー。。。。
74. タケとミキは怖くなり外に飛び出した。
75. タケ: はあはあはあ、、あいつ大丈夫かな。。。
76. ミキ: はあはあはあ、、、うん、、、行ってみよう。
77. サヤカは気を失っているようだった。
78. タケ: よし、今のうちに神社に行ってしまうおう。。。
79. お寺に着くと三人はお祓いをしてもらい、寺の住職に人形を預けた。

CONT'D OVER

80. 寺の住職: この人形の魂を抜いて、二度と戻れないようにすべて焼き尽くしてしましましょう。。。

81. ★稲川淳二作

## KANA

1. タケとサヤカはつきあい始めて、いっかげつ。だが、かいしゃのにんげんはふたりがつきあっているのはしらなかった。
2. あるひ、デートのかえり、
3. タケ: いやー、きょうはのんじゃったねー。
4. サヤカ: うん、そうねえ。ちょっとよっぱらっちゃった。ねえ、これから、うちによっていかない？
5. タケ: えっ、ほんとうに？いいの？んじゃ、ちょっとだけ。
6. サヤカ: いまおちゃいれれるからまっててねー
7. タケ: おう、サンキュー！（あはは、きょうはここにとまることになりそうだなあ。）
8. サヤカ: あのね、このへやにおとこのひとがくるの、あなたがはじめてよ。いままでだれもいれたことないの。
9. タケ: あ、そうなの？！
10. （いやー、でもさっきから、なんかいやなかんじがするんだよなー。だれかににらまれてるっていうか、ここにいちゃいけないような。。。）

CONT'D OVER

11. ふとタンスのうえをみると、そこにはきものをきたおんなのこのにほんにんぎょうがおい  
てあった。
12. タケ: うわっ。。
13. (そうかー、こいつかぁ。このにんぎょうがさっきからずーとおれのことにらんでたの  
かぁ。)
14. にほんにんぎょうはジーっと、タケのことをにらんでいた。
15. タケ: なぁ、このにんぎょうってさ、めがうごいたり、くちがうごいたり  
するにんぎょう?
16. サヤカ: そんなことできないわよ。ふつうのにんぎょうよ。
17. タケ: そうか? さっきから、すごいかおでおれのことにらんでるんだよ。
18. サヤカ: うそー、にらんでないわよ。
19. タケ: いや、ほんとうなんだよ、はをむいてこっちにらんでんだよ。
20. サヤカ: ほらー、このにんぎょう、はなんてないから。
21. タケ: えー。。。あれ、へんだなぁ。でもきみわるいなぁ。よくこんな  
にんぎょうといっしょにいれるなぁ。おれだったら、どっかにもって  
いってすてちゃうよ。このにんぎょうさぁ、すてたほうがいいよ。
22. サヤカ: だめよ、おねえちゃんからもらったんだから。
23. タケ: へえーおねえさんいるの?

24. サヤカ: うん。けれど、わたしがよねんせいのおきになくなっちゃったんだけどね。むっつとしうえのこうこういちねんせいだったの。
25. ふたりがはなしをしていると、タケがかえれるじかんではなくなったので、サヤカのいえにとまることになった。ふとんをしきでんきをけし、ふたりはよこになった。
26. タケ: ううううっつ！！！！いたいいたい！！！！
27. サヤカ: どうしたの？！
28. タケがふとタンスのうえをみると、にんぎょうはタケをジューっとはをむいてにらんでいた。
29. タケ: あのにんぎょうだよ、あのにんぎょうにうでをかまれた！！
30. サヤカ: えっ。。そんなことするはずないじゃん。
31. タケ: ほんとうなんだよ！あいつがかんだんだよ！いてーっ
32. たしかにうではちいさなはのあのようなものがのこっていた。そして、にんぎょうのくちもとにはあかいちのようなものがついていた。
33. タケ: うー、きみわるい。なあ、まずいよこのにんぎょう。やっぱすてたほうがよいよ。。
34. サヤカ: うーん。。。。
35. そのよる、タケはなかなかねれずあさをむかえた。
36. そののち、タケはサヤカをさけるようになった。あのにほんにんぎょうがこわいのと、そのにんぎょうとくらしているサヤカのことをきみわるくなくなってしまったのだ。

CONT'D OVER

37. それから、2しゅうかんごくらいのことである。
38. ミキ: サヤカねえ、いまなやんでんのよ。
39. タケ: ふーんどうして
40. ミキ: サヤカのところにさあ、ふるいにほんにんぎょうがあるの。このにんぎょうってのがさ、サヤカがしたしくなったおとこのこをつれてくるとわるさをするんだって。それで、つれてきたおとこのこはみんなにげちゃうんだって。
41. タケ: あっ、そう、へえー（あれ、たしか、おれしかサヤカのへやにはいないはずじゃなかったっけ？いいかげんなおんなだなあー）
42. ミキ: でね、まえのかれしがね、にんぎょうにうでかまれて、にんぎょうすてちゃえていったんだけど、すてられなかったんだって。でね、こんどのかれしをつれてきたいんだけど、にんぎょうがわるさしたらどうしようって、しんぱいなんだって。
43. タケ: あ、そう、へえー（あれ、つきあいやめたなんていってないのに、おれはもうまえのかれしか？！まったく！！！）
44. で、どんなにんぎょうなの？
45. ミキ: いやね、おねえさんがなくなるまえにくれたらしいんだけどね。かのじょからしてみれば、おねえさんのみがわりみたいなものなのよー。でね、かおがおねえさんになにしているんだってさ。
46. タケ: そうか。いやーでもそういうのもっていないほうがいいなあ、おてらかじんじゃでしまつしたほうがいいんじゃないか？

47. ミキ:                   じゃあ、ちょっとでんわかけてみる。
48. もしもしサヤカ?
49. サヤカ:               あ、もしもし?みき?
50. ミキ:                にんぎょうのことなんだけど、やっぱりじんじゃかおてらにもっていったほうがいいんじゃない?
51. サヤカ:            そうよねえ、わたしもちょうどそうおもってたところ。しごとからかえってくると、あさとちがういちににんぎょうがおいてあったり、かたちがちがってたりするのよ。わたしがいないまに、かってににんぎょうがあるきまわってるみたいなの。やっぱり、おてらかじんじゃにもっていこうとおもって。
52. ミキ:                そうね、そのほうがいいわよ。
53. サヤカ:            うん。。。。。。やだあ、このこにらんでるっ!!
54. ミキ:                もしもし、もしもし?!だいじょうぶ?!
55. サヤカ:            うん、だいじょうぶ。。
56. ミキ:                すぐにでもおてらかじんじゃにいきましょう!
57. ミキ:                ねえ、わるいんだけどさ、あのこ、じんじゃににんぎょうをあずけるっていうんだけど、てつだってくれない?
58. タケ:                ああ、、、んん、まあよいよ。
59. そのしゅうまつ、タケ、うしじま、ミキのさんになんはタケのくるまでおてらに行くことになった。ダンボールににんぎょうをいれ、サヤカがだきかかえるようにしてもっていた。

60. タケ: んじゃ、しゅっぱつしようか。
61. サヤカ: ねえ、、、ねえ、にんぎょうがそとにでたがってあばれてるの！がたがたおとがしてる。。
62. タケ: ちがうよ！くるまうんてんしてるからさ、それでゆれてるんだよ。
63. サヤカ: でも、でたがってる。。。
64. サヤカ: ねえ、、、あのねえ、だしてーだしてーってこえきこえない？にんぎょうがいつてるんだけど。。
65. タケ: いってないよそんなこと！！
66. サヤカ: ほらあ、いってる。。。だしてー！。。。。。だしてー！！！！。。。。だしてー！！！！！！。。。。だしてー！！！！！！！！
67. タケ: まてよ、いまくるまどめめるから。
68. サヤカ: だしてー！！！！だしてー！！！！ねえ、ここからはやくだしてー！！！！だしてー！！！！
69. サヤカはそうさけびながら、ダンボールのはこをあけようとした。
70. タケ: おまえなにやってるんだよ？！
71. タケはサヤカのをおさえようとする、サヤカはタケのうでにかみつこうとした。
72. タケ: うわっ！！
73. ダンボールにはちいさなあながひらいていた、するとあなのなかから。。。。

74. にんぎょう (サヤカ) はやくだして……。。
- カ) :
75. タケとミキはこわくなりそとにとびだした。
76. タケ:                    はあはあはあ、あいつだいじょうぶかな。。。
77. ミキ:                    はあはあはあ、、、うん、、、いってみよう。
78. サヤカはきをうっているようだった。
79. タケ:                    よし、いまのうちにじんじゃにいつてしまおう。。。
80. おてらにつくとさんにんはおはらいをしてもらい、てらのじゅうしょくににんぎょうをあずけた。
81. てらのじゅうしょく (よしかい) :このにんぎょうのたましいをぬいて、にどともどれないようにすべてやきづくしてしましましょう。。。
82. ★いながわじゅんじさく

## ENGLISH

1. Take and Sayaka have been dating for a month. But their colleagues didn't know that they were dating. One day coming home from a date...
2. TAKE:                    Wow. Did we drink a lot today!
3. SAYAKA:                We sure did. I'm pretty wasted. Hey, do you want to come over to my place?
4. TAKE:                    What? Really? Can I? Umm, OK. Maybe for a short while.

CONT'D OVER

5. SAYAKA: Can you wait a while. I'll make us some tea.
6. TAKE: Oh, thank you! (I think I'll be spending the night here today...)
7. SAYAKA: You know what? You're the first man to come to this apartment. I've never let anyone in.
8. TAKE: Oh, really?
9. (But I've been having a bad feeling about this for a while, as if someone is glaring at me or as if I shouldn't be here...)
10. When he looked up on top of Sayaka's chest of drawers, Take sees a traditional Japanese doll wearing a kimono.
11. TAKE: Oh, no. (I get it. It's the doll. That doll's been glaring at me since I came here...)
12. The doll continued glaring at Take.
13. TAKE: Hey. That doll. Is it one of those dolls that can move its eyes or mouth?
14. SAYAKA: No, it can't do those things. It's a normal doll.
15. TAKE: Really? It's been glaring at me with a scary look on its face since I came in.
16. SAYAKA: That's not true. It's not glaring at you.
17. TAKE: No really. It's been glaring at me with, showing its teeth.
18. SAYAKA: See. This doll doesn't even have teeth.

CONT'D OVER

19. TAKE: What?...That's weird. But it's kind of creepy. How could you stay in the same apartment as this doll? I would just take it someplace and throw it away. You'd better get rid of this doll.
20. SAYAKA: I shouldn't. I got it from my older sister.
21. TAKE: Oh, you have a sister?
22. SAYAKA: Yes, well, she died when I was in fourth grade. She was six years older than me, so she was a freshman in high school (when she passed away).
23. As the two continued talking, Take's last train past. So they decided that Take would spend the night at Sayaka's. The two laid down their futons on the floor, turned off the lights and laid down.
24. TAKE: Uhh! Ouch! Ouch!
25. SAYAKA: What happened?
26. As Take looked at the top of the drawers, he saw the doll glaring straight at him with its teeth exposed.
27. TAKE: It's that doll. I got my arm bitten by that doll!
28. SAYAKA: What? ... It wouldn't do something like that.
29. TAKE: It's true! That thing bit me! Ouch!
30. And just as Take said. There was a small teeth mark on his arm. And the two noticed something red -- like blood -- on the doll's mouth.
31. TAKE: Yikes. This is creepy. This doll is really evil. You'd better get rid of it...

CONT'D OVER

32. SAYAKA: Well...
33. That night, Take had trouble sleeping. But then came morning.
34. After that, Take began avoiding Sayaka. He had become scared of the doll and crept out by Sayaka because she had no trouble living with a wicked doll.
35. About two weeks later...
36. MIKI: Something is troubling Sayaka.
37. TAKE: Why?
38. MIKI: She has an old Japanese doll that plays tricks on all the men that Sayaka befriends and takes to her home. And all the men run away from her because of that.
39. TAKE: Oh really? Hmm... (Hey! Didn't she say that I was the only man who's been to her apartment? That woman isn't very sincere.)
40. MIKI: Her old boyfriend was bitten by the doll, and told her to throw it out. But she couldn't bring herself to do it. Now, she wants to bring her new boyfriend home, but is worried about what evil deeds the doll will do.
41. TAKE: Oh really. Hmmmm... (What? We didn't say we were breaking up and I'm already an ex-boyfriend?! What is that?!) Well, what kind of doll is it?
42. MIKI: Well, apparently, Sayaka's sister gave it to her before she died. So Sayaka feels like it's a part of her sister. And the doll's face apparently looks like her sister.
43. TAKE: Really? Well, she shouldn't hold on to something like that. Maybe she should bring it to a temple or shrine and have them dispose of it.

CONT'D OVER

44. MIKI: Well, let me call her.
45. MIKI: Hello? Sayaka?
46. SAYAKA: Hello, Miki?
47. MIKI: About your doll. Maybe you should bring it to a temple or shrine?
48. SAYAKA: I know. That's just what I was thinking. When I get home from work, I notice that the doll is standing someplace other than where it was earlier that day. And it's shaped differently, too. It's like the doll is walking around my house while I'm away. I think I should bring it to a temple or shrine.
49. MIKI: Yeah, that might be best.
50. SAYAKA: Uhhh...Oh no! The dolls is glaring at me!!
51. MIKI: Hello! Hello! Are you OK, Sayaka?
52. SAYAKA: Um. Yeah, I'm fine.
53. MIKI: Let's go to a temple or shrine right now!
54. MIKI: Take, I'm really sorry. But Sayaka says she's going to bring the doll to a shrine right now. Can you come and help?
55. TAKE: Ummm... I guess.
56. That weekend, Take, Sayaka and Miki decided to go to a temple in Take's car. They put the doll into a cardboard box, and Sayaka carried the box in her arms.
57. TAKE: Okay. Ready to go?

CONT'D OVER

58. SAYAKA: Umm... The doll is kicking and struggling to get out of the box! I can hear the noise it's making.
59. TAKE: That can't be right. It's the shaking from the car.
60. SAYAKA: But it's trying to get out....
61. SAYAKA: Ummm...Can you hear the doll's voice saying, "Let me out. Let me out." The doll is talking...
62. TAKE: It's not saying that!!
63. SAYAKA: Look, it's talking...Let me out!..... Let me out!.....Let me out!.....Let me out!.....
64. TAKE: Just wait. I'll stop the car.
65. SAYAKA: Let me out!....Let me out!....Let me out!.... C'mon. Let me out!....Let me out!....
66. Sayaka continued screaming as she tried to open the box.
67. TAKE: What are you doing?
68. As Take tried to hold Sayaka's hand, Sayaka tried to bite Take's arm.
69. TAKE: Ouch!!
70. There was a small hole in the box, and from that hole,
71. DOLL (SAYAKA): Let me out, quickly!
72. Take and Miki got scared and ran out of the car.

CONT'D OVER

73. TAKE: (huffing and puffing) Is she okay?
74. MIKI: (huffing and puffing) Yeah... let's go...
75. Sayaka seems to have lost consciousness.
76. TAKE: Alright. Let's go now, while she's unconscious...
77. When they reached the temple, the three had the priests ward off the evil spirits and gave the priest the doll.
78. PRIEST: Let's take the spirit out of this doll and and burn it completely so it can never return....
79. ★Story by Inagawa Junji

## VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
付き合う	つきあう	tsukiau	to go out with;V1
身代わり	みがわり	migawari	substitute (for)
寺	てら	tera	temple
神社	じんじゃ	jinja	Shinto shrine
始末する	しまつ する	shimatsu suru	to dispose of
預ける	あずける	azukeru	to deposit, to give into custody
抱き抱える	だきかかえる	dakikakaeru	to hold, to embrace (in one's arms)
暴れる	あばれる	abareru	to act violently
ダンボール	だんぼーる	danbōru	carton case
気を失う	きをうしなう	ki o ushinau	to black out

お祓い	おはらい	oharai	exorcism
住職	じゅうしょく	jūshoku	chief priest (of a Buddhist temple)
いい加減	いいかげんな	iikagen na	irresponsible, vague
悩む	なやむ	nayamu	to be worried, to be troubled
避ける	さける	sakeru	to avoid
酔っ払う	よっぱらう	yopparau	to get drunk ;V1
寄る	よる	yoru	to drop in
泊まる	とまる	tomaru	to stay at (e.g., hotel)
みらむ	にらむ	niramu	to glare at
たんす	たんす	tansu	chest of drawers
日本人形	にほんにんぎょう	nihon ningyō	Japanese doll
むく	むく	muku	to peel
気味悪い	きみわるい	kimi warui	creepy, scary
亡くなる	なくなる	nakunaru	to die
噛む	かむ	kamu	to bite
跡	あと	ato	trace, tracks, mark
魂	たましい	tamashii	soul, spirit

## SAMPLE SENTENCES

彼と私は3年付き合っています。  
*Kare to watashi wa san-nen tsukiatte imasu.*

He and I have been going out for three years.

私は、銀行にお金を預けに行った。  
*Watashi wa, ginkō ni o-kane o azukeni itta.*

I went to deposit my money at the bank.

<p>日本の大学生は、3年生になると、みんな進路に悩む。</p> <p><i>Nihon no daigakusei wa san-nensei ni naru to minna shinro ni nayamu.</i></p> <p>Japanese university students worry about what they will do after graduation when they become a junior.</p>	<p>一度けんかを始めると大変なので、けんかをできるだけ避ける。</p> <p><i>Ichi-do kenka o hajimeru to taihen na no de kenka o dekiru dake sakeru.</i></p> <p>Once a quarrel begins, it's very hard to put an end to it, so I try to avoid it as much as possible.</p>
<p>私の父は、酔っ払って、転んだ。</p> <p><i>Watashino chichi wa yopparatte, koronda.</i></p> <p>My father got drunk and fell.</p>	<p>みかんは、皮をむくと食べやすい。</p> <p><i>Mikan wa, kawa o muku to tabe yasui.</i></p> <p>Orange would be easy to eat when you peel from it.</p>